



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

チュニジア：アリード新内閣の発表

8日、アリー・アリード首相は新内閣を発表した。閣僚リストは以下の通り。

2月6日、左派野党政治家のシュクリー・ベルイードがサラフィー主義者によって暗殺される事件が発生した後、ジバーリー前首相は、世俗主義者とイスラーム主義者の対立で分裂した政治・社会を統合するべく、超党派の実務家内閣の組閣を進めていた。しかし、ジバーリー首相の出身政党でもあるナフダ党から、超党派実務家内閣という案への強い反対が現れ、2月19日、同首相は辞任を発表した。その後、22日、内相を務めていたアリー・アリード(ナフダ党)が首班指名を受け、「すべてのチュニジア人のための内閣」を掲げ、諸政党と連立協議に入った。

アリード新内閣の顔ぶれを見ると、前ジバーリー内閣に比べて無所属派の大臣が多いが、前内閣での連立3党(トロイカ)である、ナフダ党、共和国のための会議党(CPR)、タカトル党(労働と自由のための民主フォーラム)が再び連立与党となった。諸野党は、アリード新内閣は前内閣と変わりなく、チュニジア社会を統合できる能力はないと批判している。

首相	アリー・アリード	新	ナフダ党、前内相
政治問題担当 首相府付き副大臣	ヌールッディーン・ビヒーリー	新	ナフダ党、前法相
経済問題担当 首相府付き副大臣	レダ・サイーディー	留	ナフダ党
汚職対策担当 首相府付き副大臣	アブドゥルラフマン・アドガム	留	タカトル党
国防相	ラシード・サツバーク	新	裁判官
法相	ナズィール・ベン・アンムー	新	弁護士
外相	オスマーン・ジャランディー	新	外交官
内相	ロトフィー・ベン・ジッドゥー	新	裁判官
財務相	ハーフィズ・イリヤース・ファフファーフ	留	タカトル党
産業相	マフディー・ジュムア	新	
貿易・伝統産業相	アブドゥルワッハブ・マアタル	新	CPR、弁護士、前就労 促進相
社会問題相	ハリール・ザーウィヤ	留	タカトル党
健康相	アブドゥルラティーフ・メッキー	留	ナフダ党
運輸相	アブドゥルカリーム・ハールーニー	留	ナフダ党
教育相	サーリム・ラビード	新	
青年スポーツ相	ターレク・ズィヤーブ	留	
人権・移行期正義相	サミール・ディールー	留	ナフダ党
情報技術・通信相	ムンジー・マルズーク	留	
就労促進相	ナウフェル・ジャマリー	新	
宗教問題相	ヌールッディーン・ハードウミー	留	
国家財産・不動産相	セリーム・ベン・ハミーダーン	留	CPR
開発・国際協力相	ラミン・ドグリー	新	(新設省)

高等教育相	モンセフ・ベン・サーリム	留	ナフダ党
文化相	マフディー・マブルーク	留	
農業相	ムハンマド・ベン・サーリム	留	ナフダ党
観光相	ジャマール・カムラ(ガムラ)	新	
環境相	ムハンマド・スレイマーン	留	ナフダ党
女性・家族問題相	スイハーム・バーディー	留	CPR

(金谷研究員)